

2013年3月期 決算説明会資料

2013年5月16日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165)



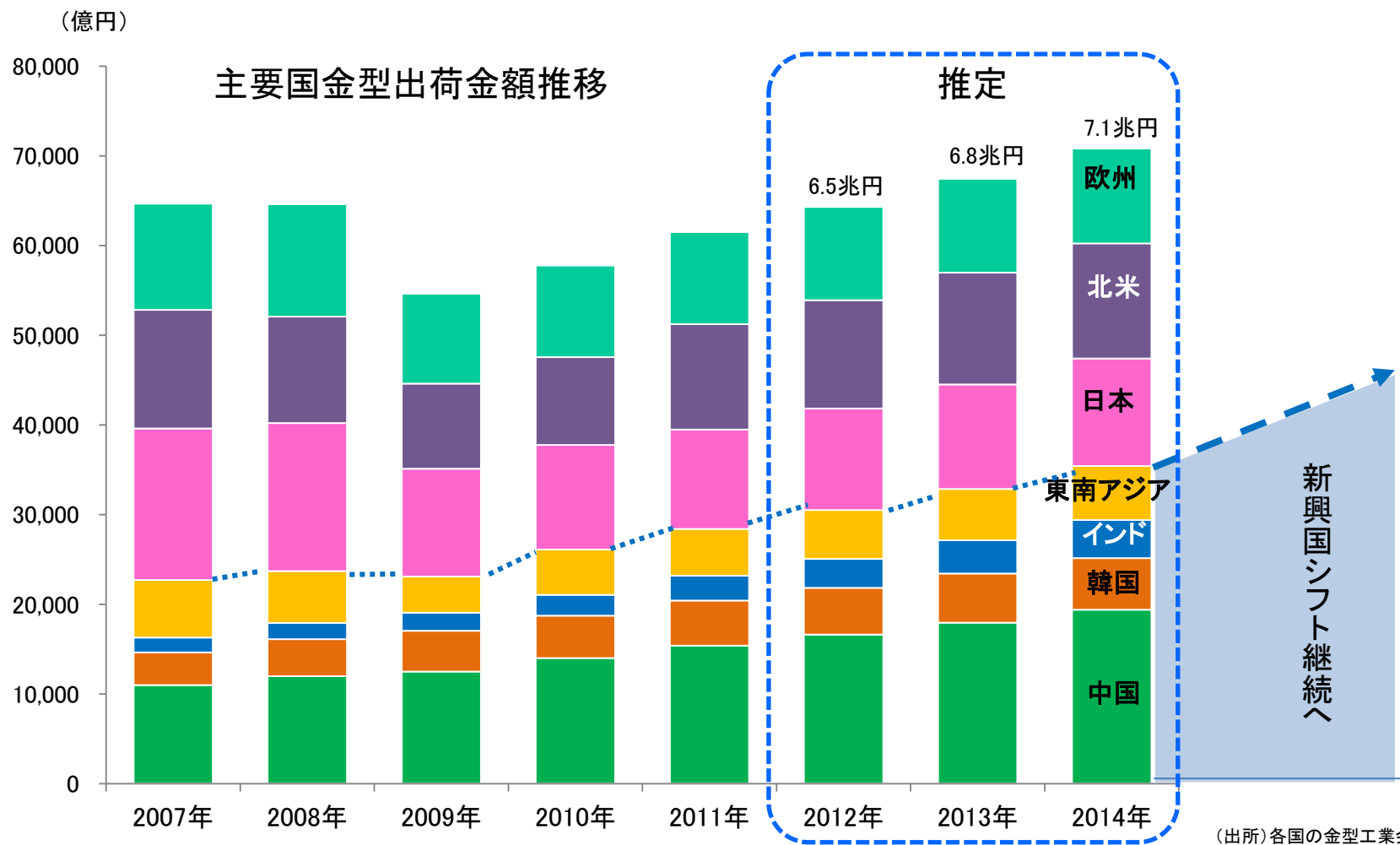
PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

1. 経営環境
2. 2013年3月期 決算概況
3. 2014年3月期 業績予想
4. 今後の重点施策
5. 会社概要

1. 經營環境

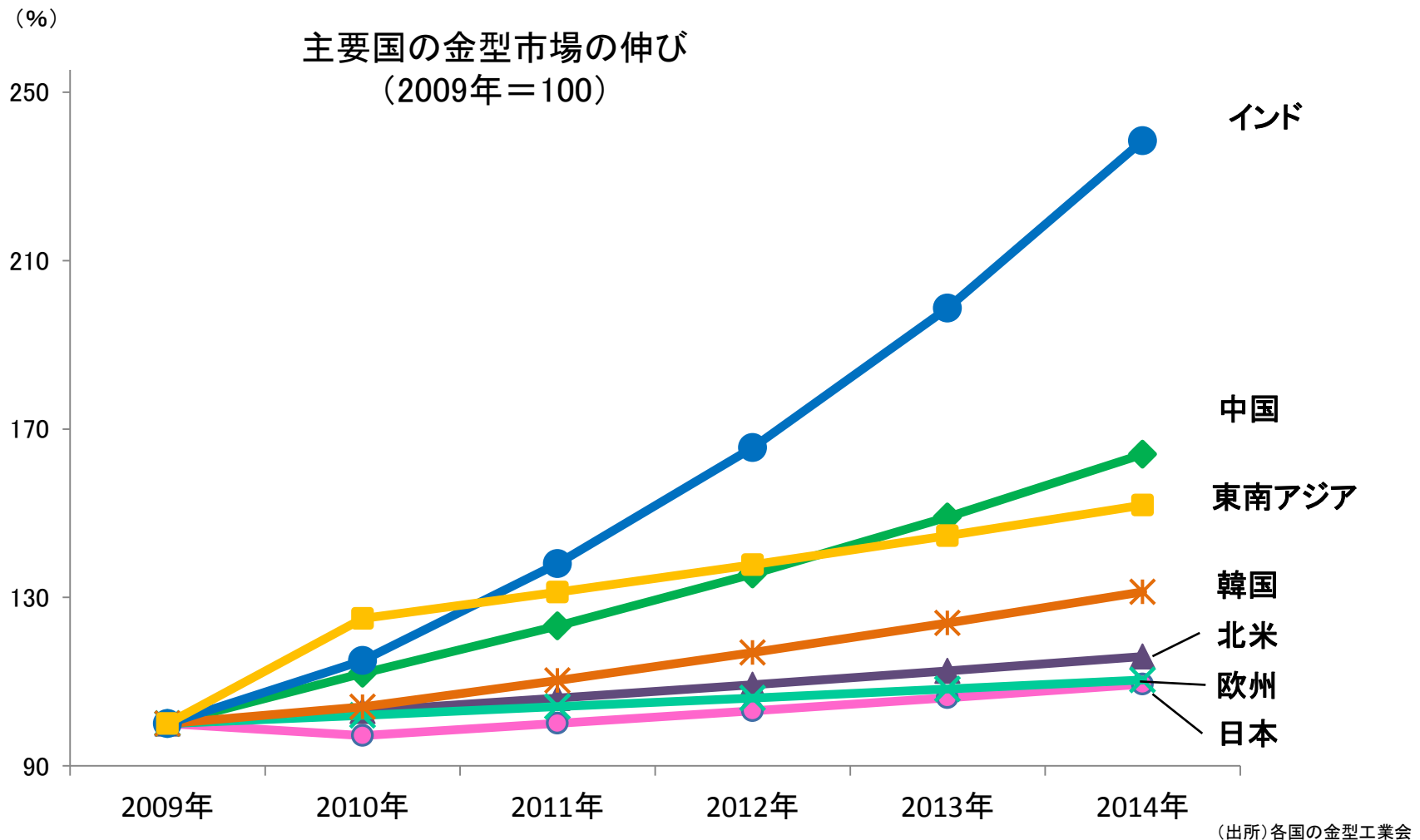
金型市場の予想(金額)

リーマンショック直後をボトムに着実な回復基調

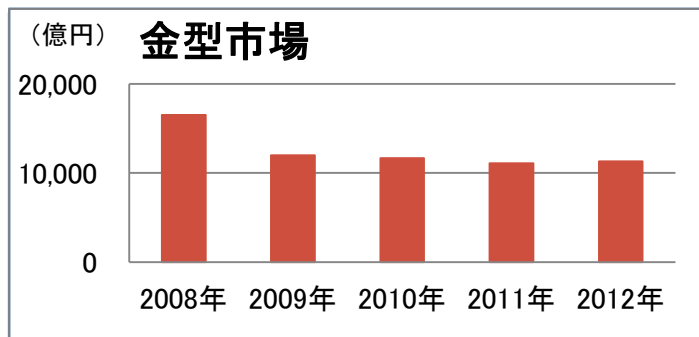


金型市場の予想(成長性)

金型需要は成熟市場から新興国市場へシフト



国内市場



米金融危機後はほぼ横這い。今後は円安等で持ち直しの期待があるが、超精密及び高付加価値以外は海外へシフト。3Dプリンタの台頭で研究開発・試作市場の縮小も懸念。

顧客業界動向

自動車

米国及びアジア向けの輸出が好調。

電子部品

スマホやタブレット関連は堅調だが、PCは減速し、全体として低調に推移。

その他

医療、食品・飲料は堅調に推移。

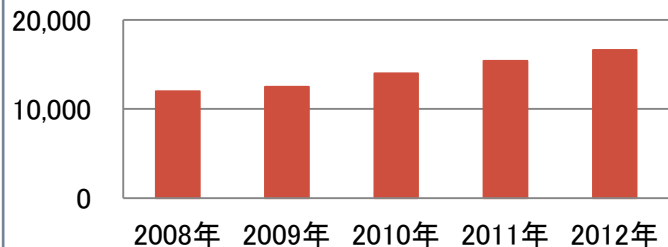
課題

微細加工や高精度技術の更なるレベルアップ。



中国市場

(億円) 金型市場



金型売上高の伸び率は2012年度二桁を下回り8.9%となったものの、まだまだ安定的な成長。内陸部へのシフトも現在進行形であり、今後も期待できる「世界の工場」。

顧客業界 動向

自動車

2012年度自動車販売台数1,930万台。
2013年度は2,065万台と7%の伸びを予想。

電子部品

2012年度中国のスマホ・タブレット・携帯の生産台数は全世界の50%超。2013年度も増加の予想。

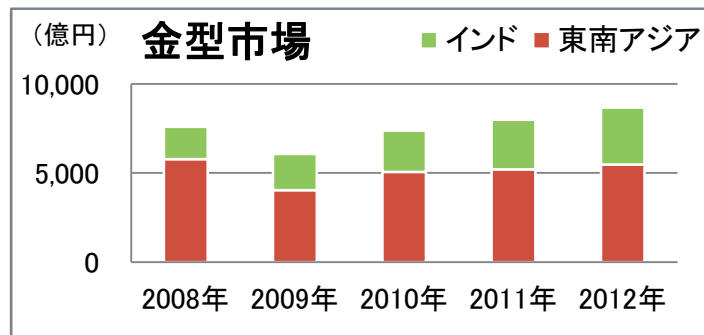
その他

堅調な医療や過去5年にわたって二桁成長が続いている化粧品市場にも期待。

課題

製造原価の低減(材料、生産性等)と高付加価値製品への取組。

インド・東南アジア市場



【インド】自動車関連で全体の7割を占め、今後の発展が最も期待出来る分野。2020年には7,500千台を超え、世界5位の自動車大国へ。

【東南アジア】自動車市場が牽引。域内需要が旺盛な情報通信分野も堅調。

顧客業界 動向

自動車

EU向け輸出が減速したが、アジア域内、米国向けを増やし、前年比増。今後も同様のトレンド。

電子部品

スマホやタブレットが好調でPC減をカバー。

その他

医療、食品分野に期待。

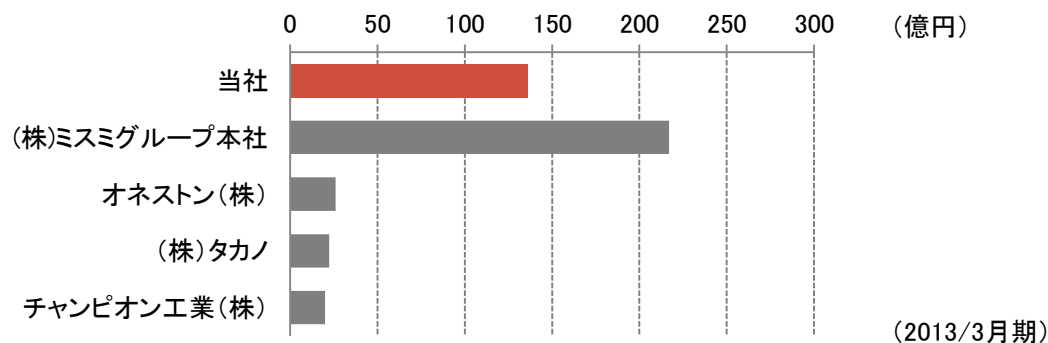
課題

事業基盤の確立。

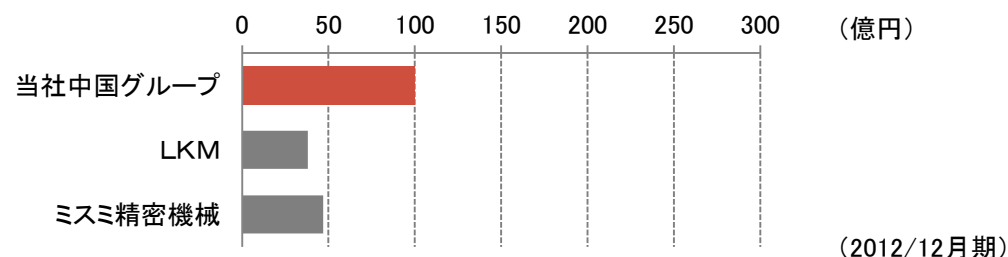
競合状況

当社グループ売上高は、国内、世界ともに2位、中国では1位

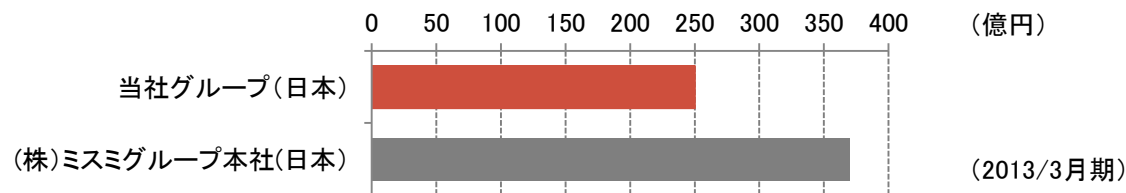
日本市場



中国市場



世界市場



(出所)決算短信、帝国データバンク、当社推計

2. 2013年3月期 決算概況



2013年3月期 決算ハイライト

厳しい市場環境下、日中ともに売上はほぼ想定通り前年はクリア出来たものの、利益面では、1Qの中国、2Qの単体での苦戦が影響したことにより営業利益が、加えて繰延税金資産取崩しもあり当期純利益が前年に届かなかった。

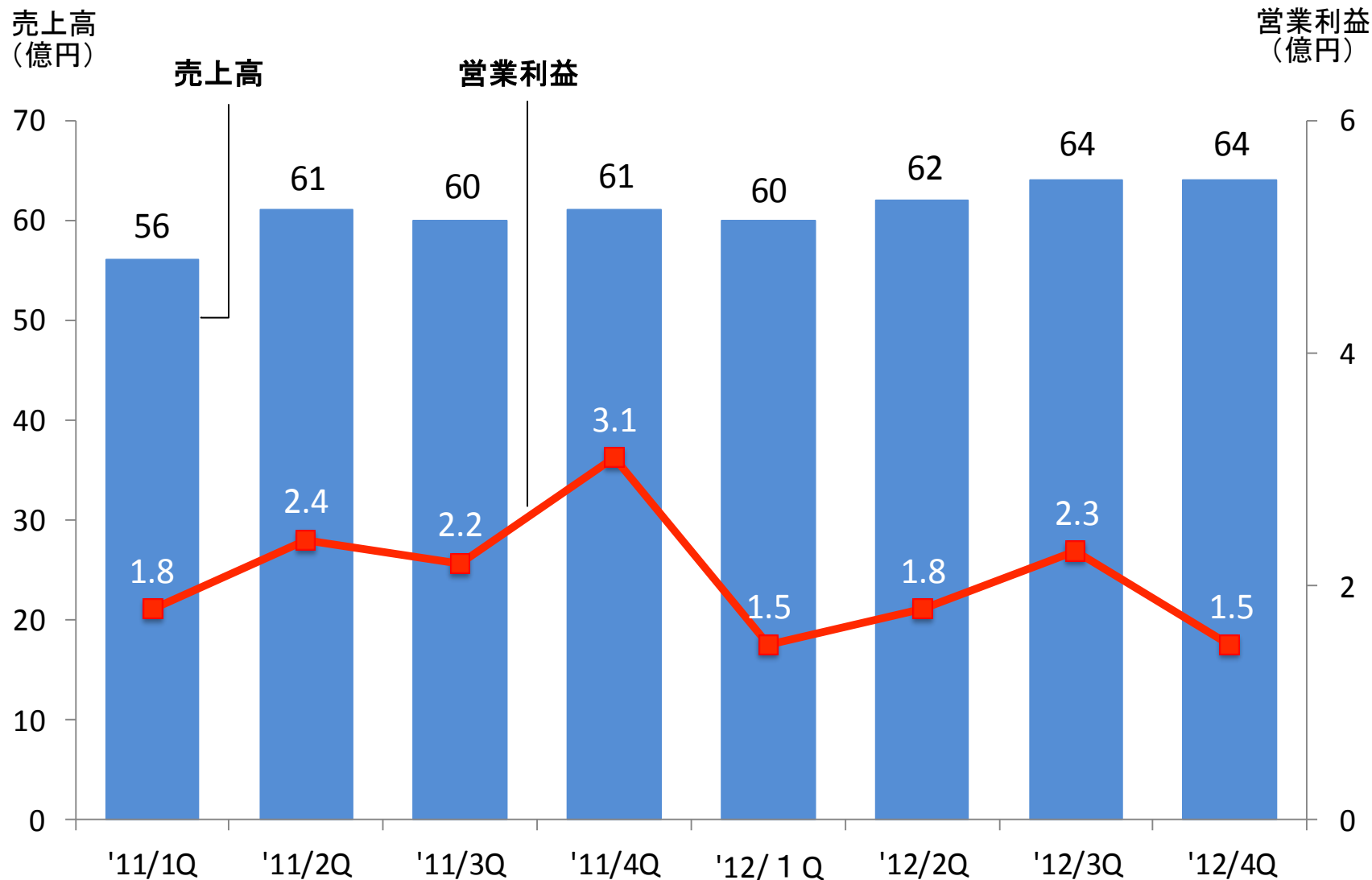
売上	連結	日中ともに電子部品・半導体等が低迷したが、自動車市場の深耕、新市場・新分野への積極的な展開により250億円(前年比105%)を確保。
	単体	一昨年の大震災もあり、1Qは前年を大きく上回ったが、2Qから業界全体が急変したものの、積極的に取組んでいる自動車市場を中心に前年レベルは確保。年間で前年比102%となった。4Qは想定を下回ったものの、電子部品・家電等に回復の兆しも。
	中国	景気減速の中、3Q以降の自動車関連受注が活発化。また新分野開拓の効果もあり前年比108%となった。
利益		売上増はあったものの、中国での原価率上昇や日中での販管費増により営業利益は7億円。当期純利益は繰延税金資産の取崩しもあり2億円。共に前年に届かなかった。
資金		自動化設備投資等の積極的な投融資は実施したが、ネット資金は前年レベルを維持。

2013年3月期 損益計算書サマリー

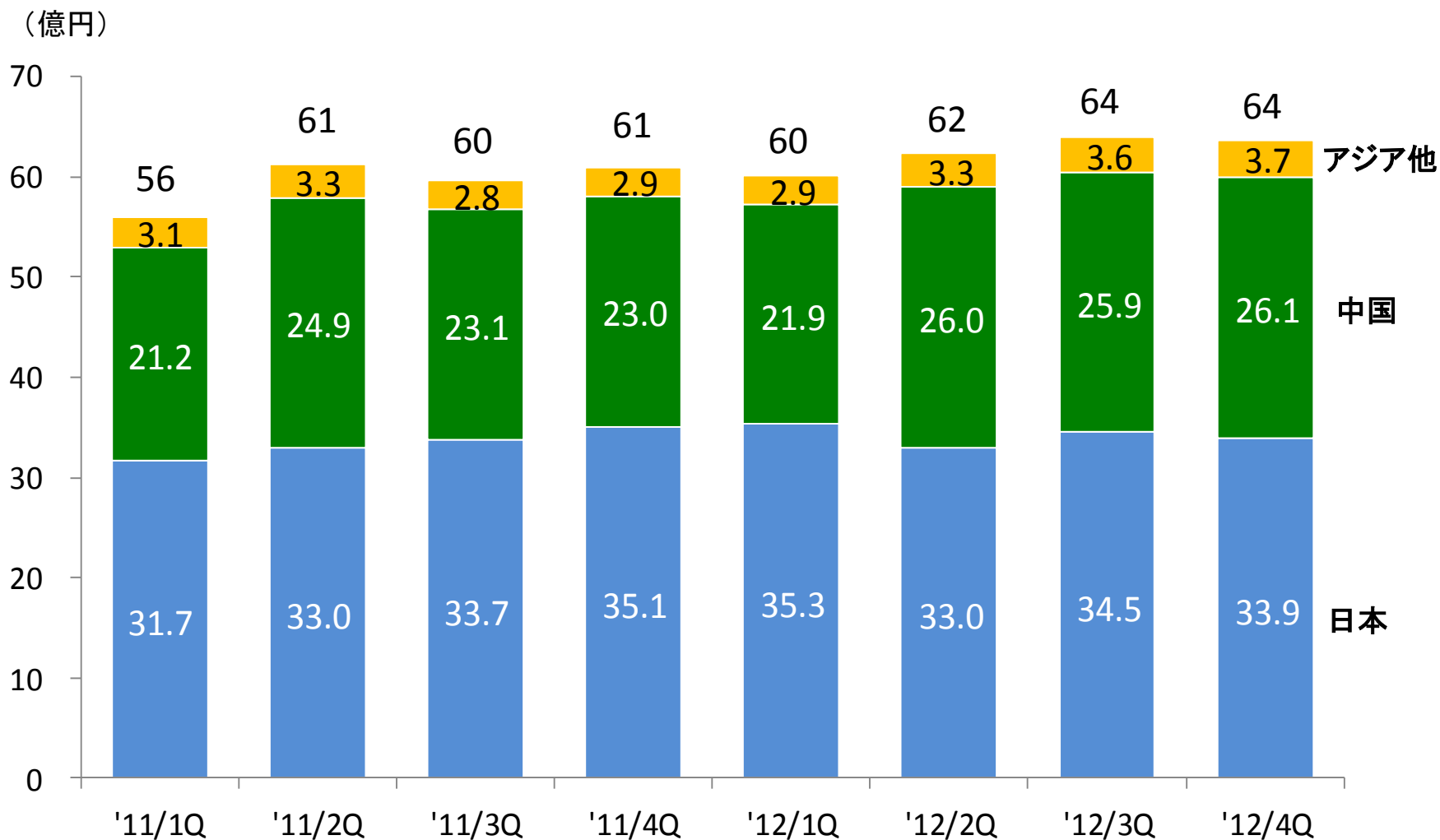
(単位:百万円)

	2012年3月期 実績		2013年3月期 実績		前年差	前年比
売上高	23,801		25,041		1,240	105%
営業利益	4.0%	946	2.8%	707	▲ 239	75%
経常利益	3.4%	805	3.3%	822	17	102%
当期純利益	1.7%	394	0.9%	213	▲ 181	54%

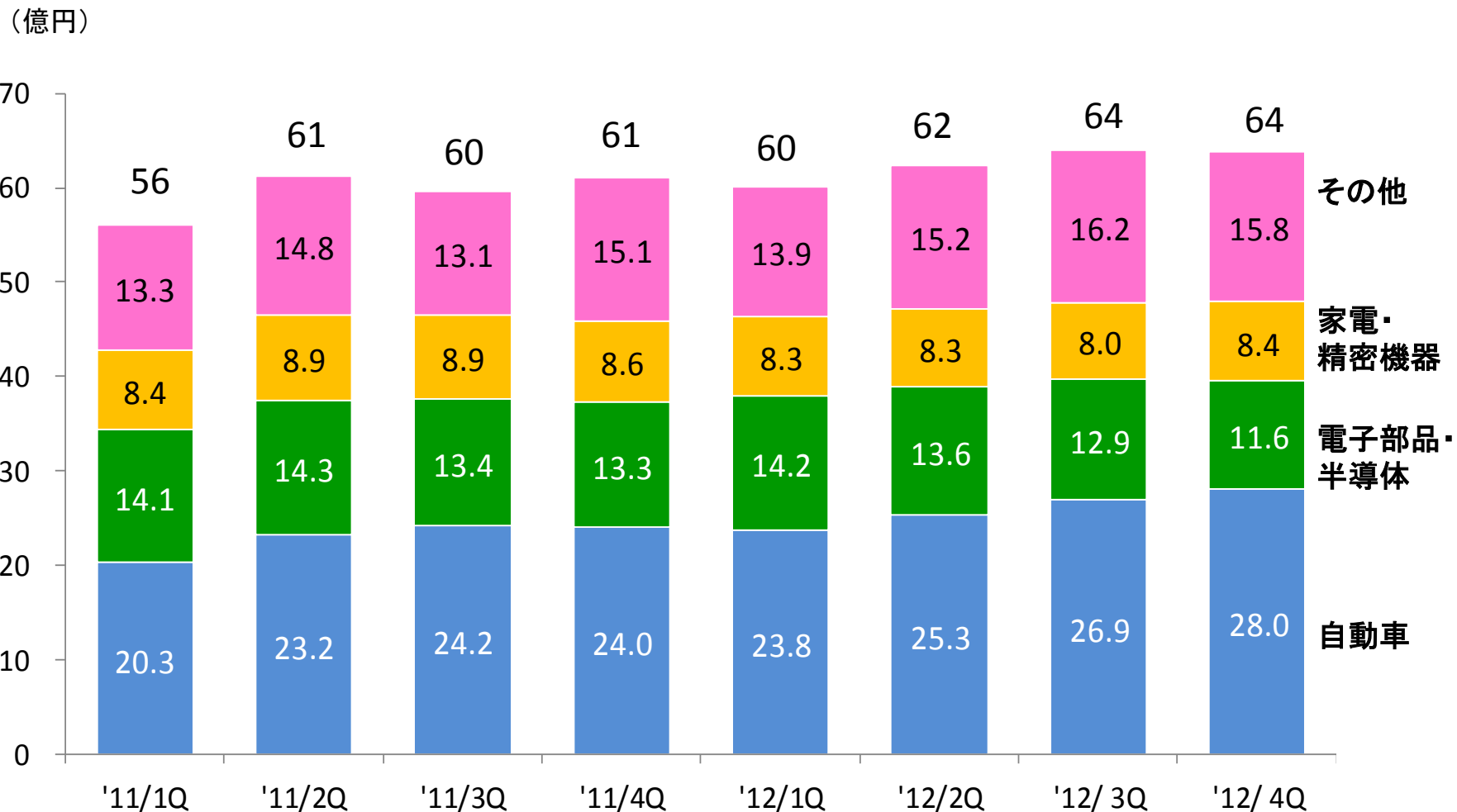
売上高と営業利益の推移



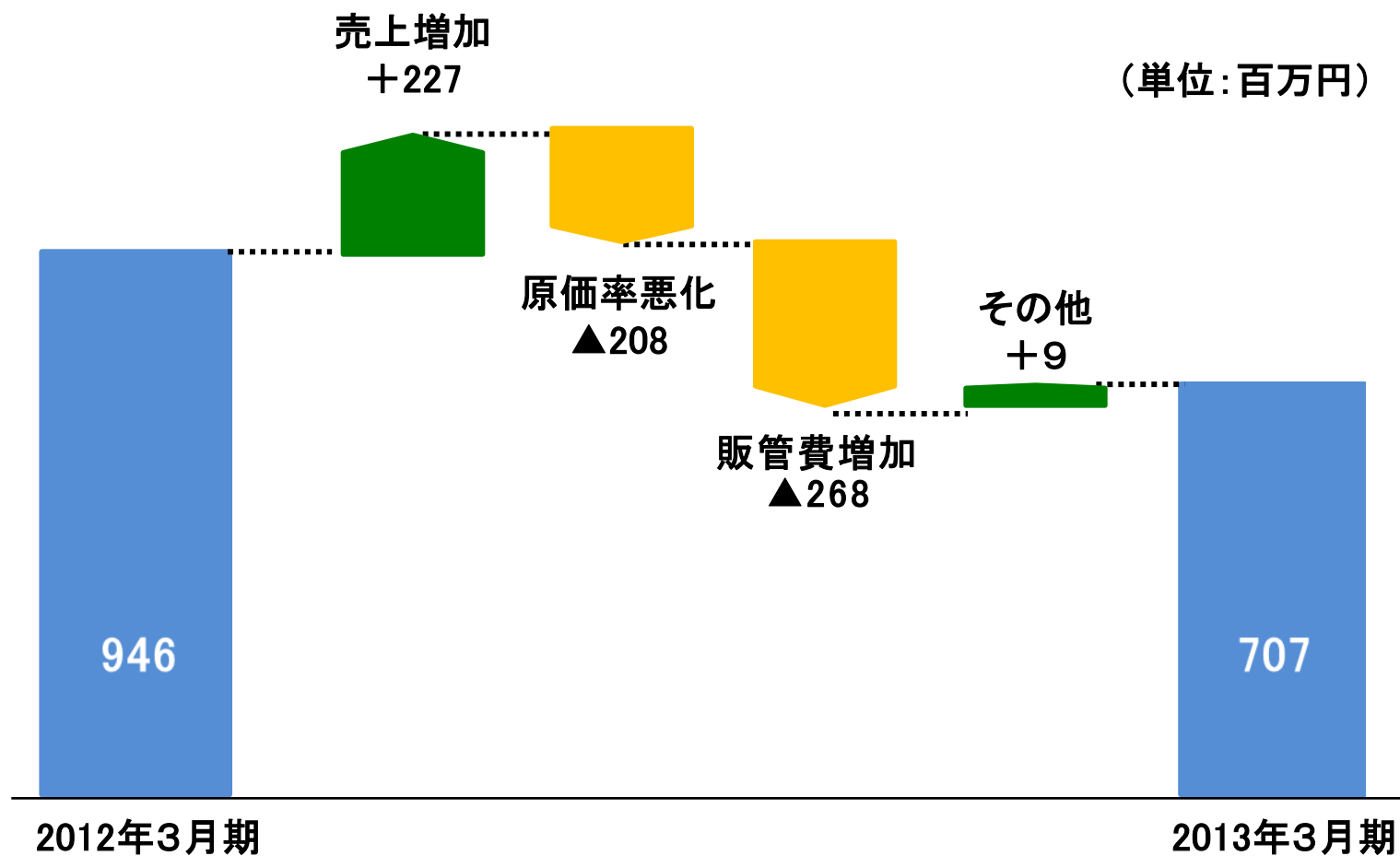
地域別売上高



業種別売上高



2013年3月期 営業利益増減



2013年3月期 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績	前期末増減
総資産	18,895	20,573	1,678
総負債	14,599	14,847	248
うち有利子負債	8,944	8,953	9
純資産	4,296	5,726	1,430
ネット資金	▲ 7,197	▲ 7,212	▲ 15
自己資本比率	22.7%	27.8%	5.1ポイント
ROE	8.2%	3.8%	▲4.4ポイント
設備投資額 (無形固定資産含む)	1,206	972	▲ 234
減価償却費 (無形固定資産含む)	1,060	1,072	12

2013年3月期 キャッシュ・フローサマリー

(単位:百万円)

	2012年3月期 実績	2013年3月期 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	595	1,690
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,620	▲ 1,773
フリーキャッシュ・フロー	▲ 1,025	▲ 83
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,819	▲ 41
現金及び現金同等物の増減額	▲ 2,839	▲ 5
現金及び現金同等物の期末残高	1,746	1,741

3. 2014年3月期 業績予想



2014年3月期 業績予想ハイライト

経営環境は依然として不透明ながら、「新市場等への取組みによるグローバル展開」と「国内収益体質改革」を積極的に進め、増収・増益を目指す。

売上

連結

自動車関連への取組みは更に強化しつつ、医療関連等の新しい分野も攻め、265億円(前年比106%)を狙う。また、インド・東南アジア地域への積極的展開及び欧米への販路開拓も進める。

単体

電子部品・精密機器・半導体業界は、2012年度同様に低調に推移すると想定するも、自動車・医療・食品関連等での拡販に取組み、前年レベルは確保する。

中国

市況は予断を許さないものの、販売網の強化と併せ、中西部に注力。また、戦略製品の拡販、海外販売の強化も進め、前年比(現地通貨ベース)103%を見込む。

利益

単体収益体質改革への積極的取組み、中国での戦略製品(高付加価値製品)の拡販等により営業利益9億円(前年から2億円増)、当期純利益5億円(前年から3億円増)を見込む。

資金

経営効率(総資産回転)アップを目指し、ネット資金の改善と資金コストの削減を図る。

2014年3月期 業績予想概況

(単位:百万円)

	2013年3月期 (実績)		2014年3月期 (予想)		前年差	前年比
売上高	25,041		26,542		1,501	106%
営業利益	2.8%	707	3.5%	917	210	130%
経常利益	3.3%	822	2.8%	748	▲ 74	91%
当期純利益	0.9%	213	2.0%	536	323	252%

4. 今後の重点施策



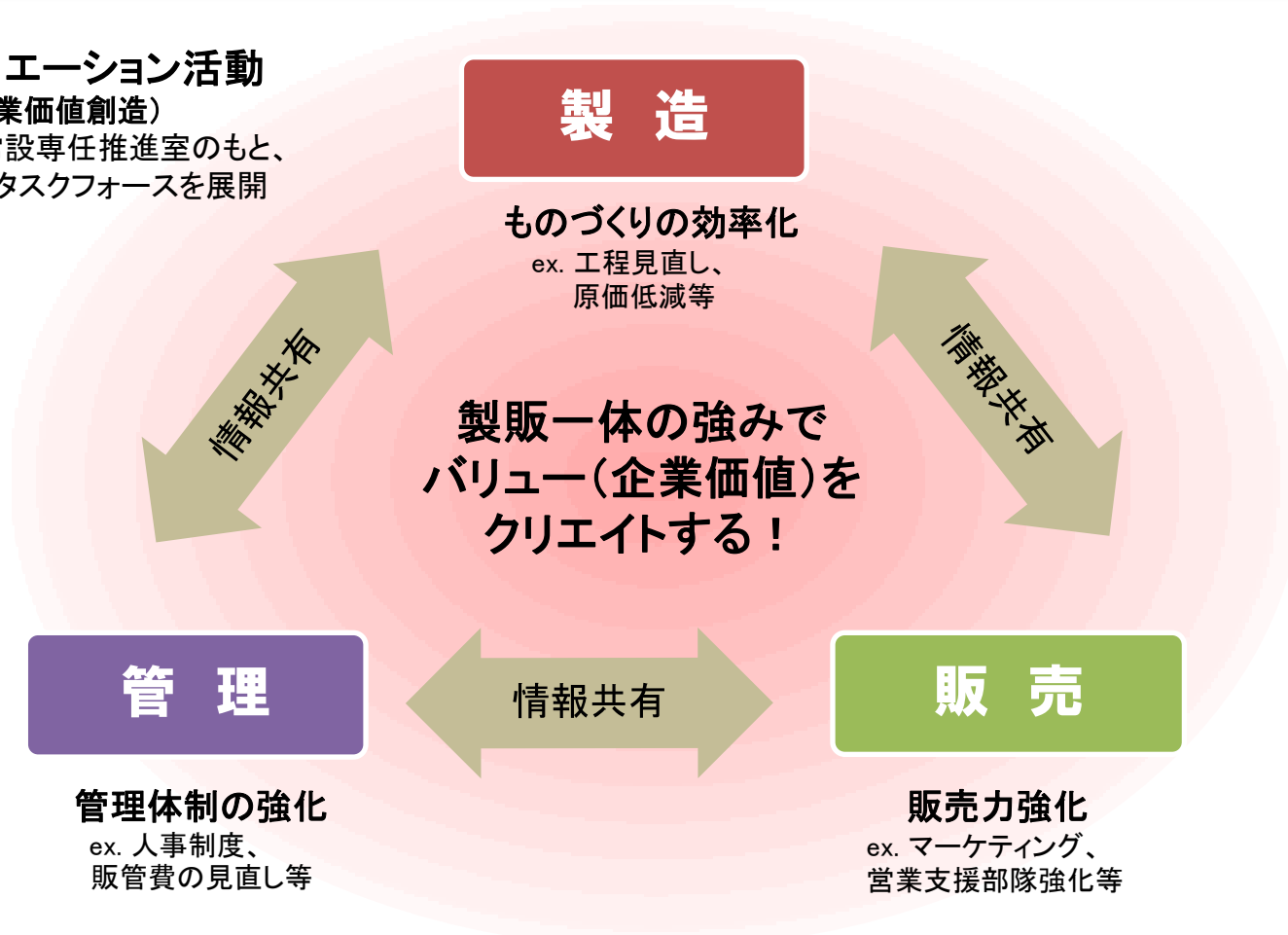
重点施策①国内事業

単体収益体質改革に向けた「バリュー・クリエーション計画」を全社を挙げて展開し、日中、バランスのとれた収益構造の実現を目指す。

バリュー・クリエーション活動

(企業価値創造)

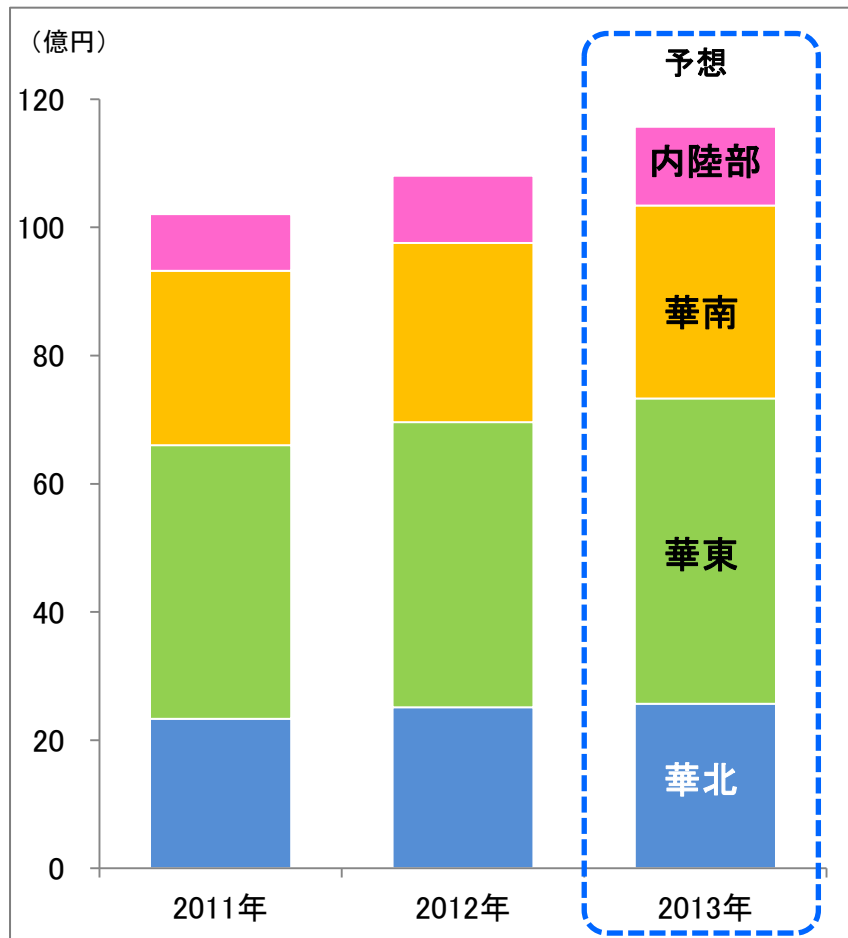
社長直轄の常設専任推進室のもと、傘下に個別タスクフォースを展開



重点施策②中国市場

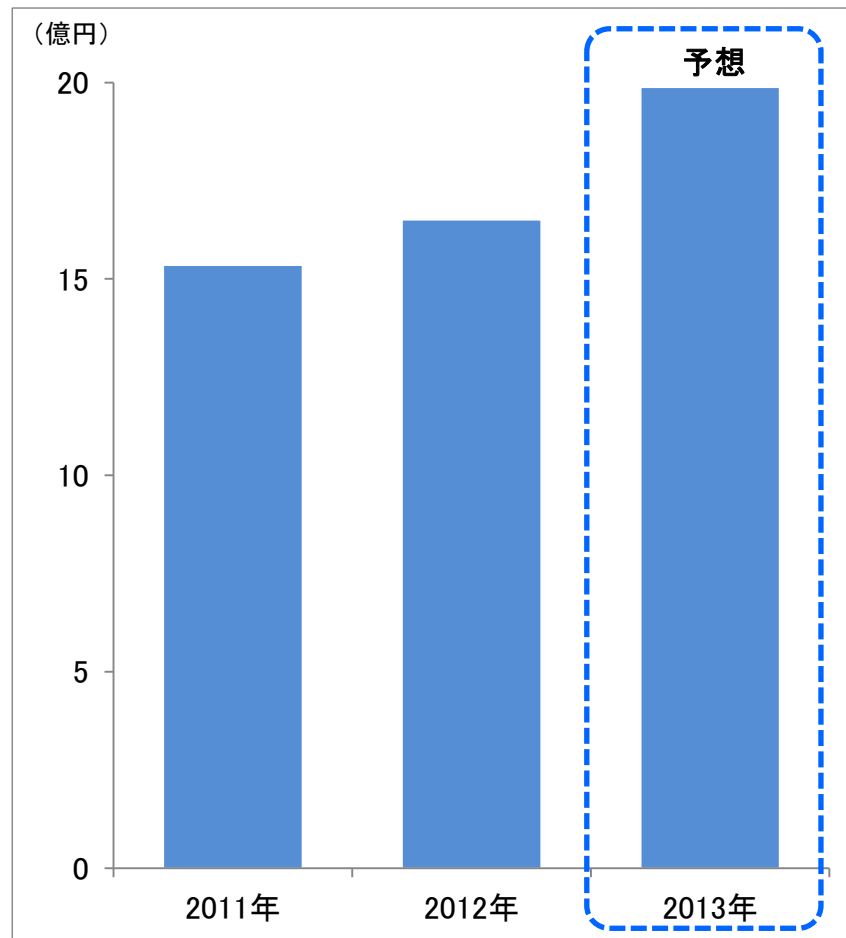
内陸部攻略

重慶での生産・物流拠点(5月操業開始)のフル活用で成長市場を攻略



戦略製品拡販

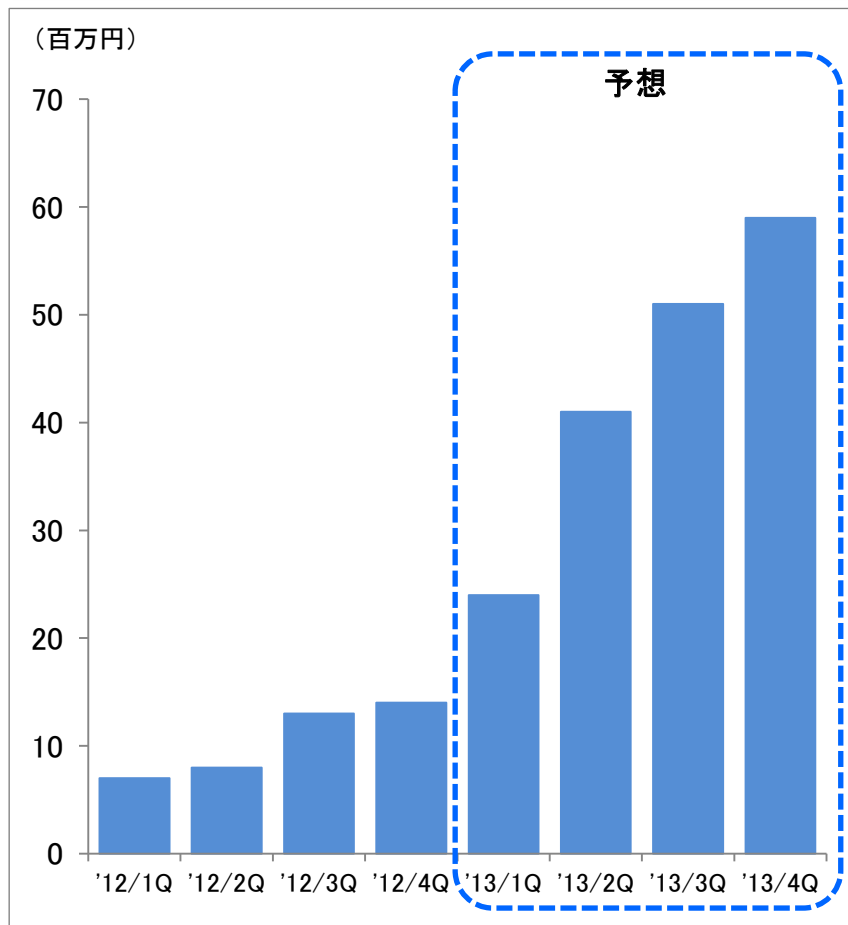
研究開発成果である戦略製品拡販で収益性改善と投資回収



重点施策③インド・東南アジア市場

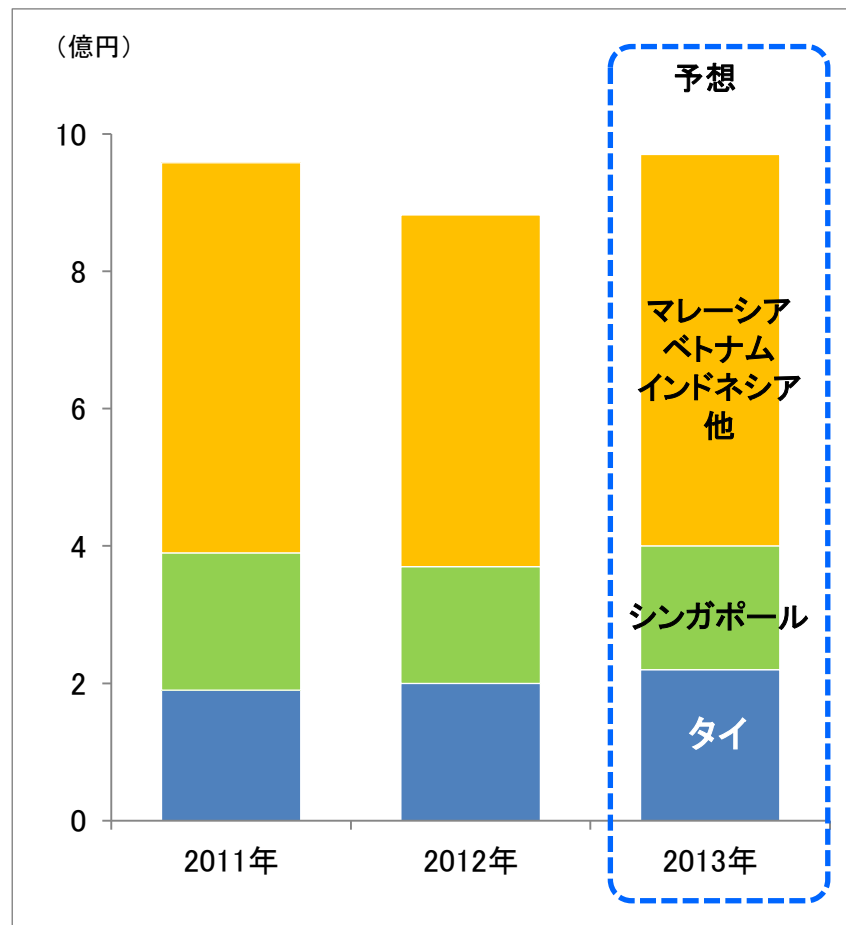
インドパンチ

物流安定化、在庫品拡充、体制見直し
等々により「事業基盤」を整備



東南アジア

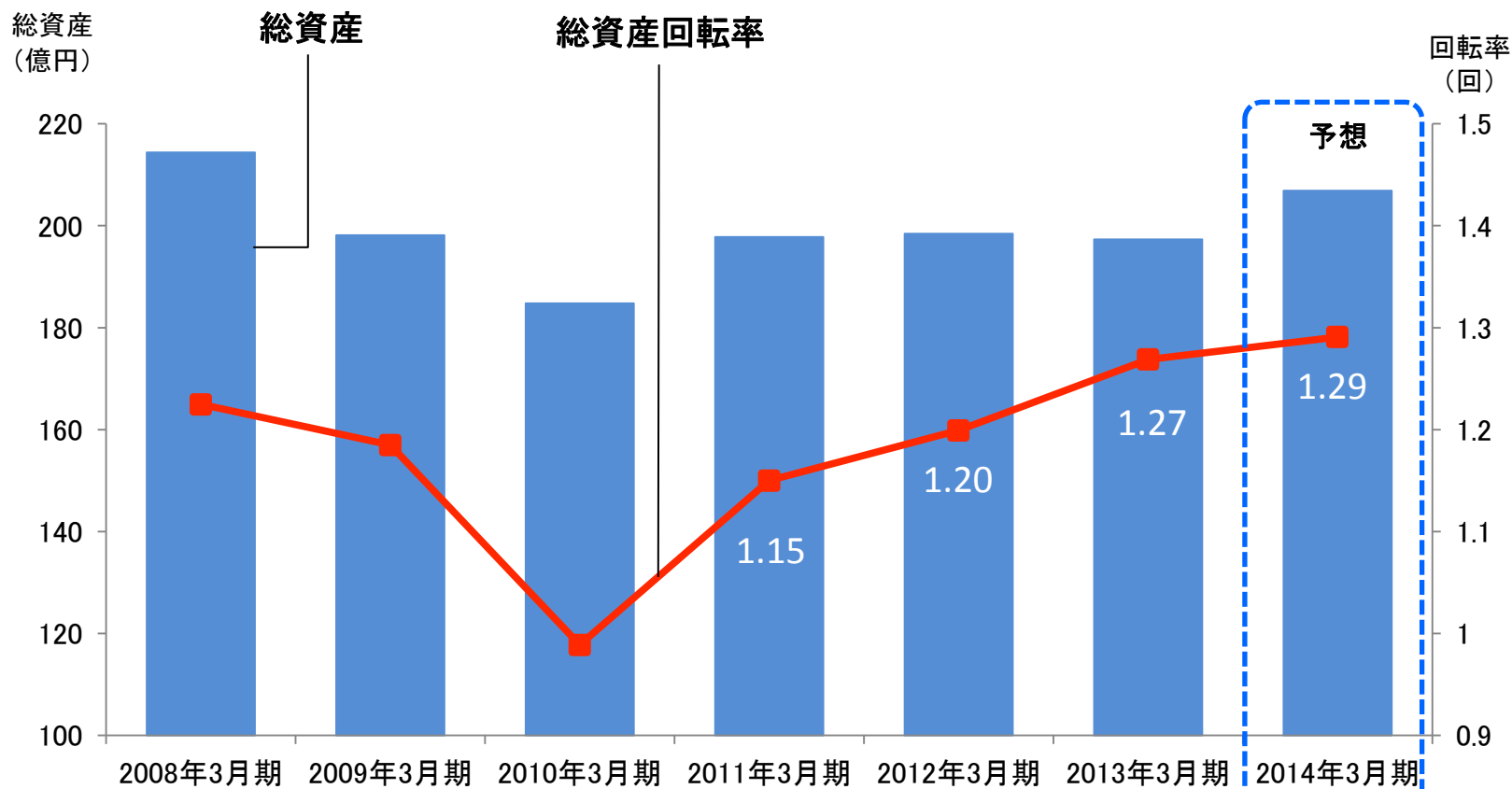
パンサー社と提携及び既存代理店との
連携強化により販売体制を構築



財務戦略

リーマンショック以降、総資産回転率は着実に改善。

さらなる有利子負債削減、在庫適正化等を推進し、「総資産回転率=1.5」を目指す。



(注) 2008年3月期～2010年3月期は、監査法人の監査を受けていない参考値となります。

配当について

配当方針	安定かつ継続的な配当に加え、業績連動により連結配当性向20%
2013年3月期 期末配当	普通配当 15円 + 記念配当 5円 = 20円
2014年3月期 配当予想	中間 7円50銭 + 期末 7円50銭 = 15円

5. 会社概要



会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都港区港南二丁目12番23号
設立	1975年3月
資本金	6億7,420万円（2013年3月末現在）
従業員数	3,470名（グループ連結、2013年3月末現在）
生産拠点	北上工場（岩手県北上市） 宮古工場（岩手県宮古市） 兵庫工場（兵庫県加西市）
グループ会社	株式会社ピンテック（山形市） 盤起工業（大連）有限公司（中国） 盤起工業（瓦房店）有限公司（中国） 盤起工業（無錫）有限公司（中国） 盤起工業（東莞）有限公司（中国） 盤起弾簧（大連）有限公司（中国） PUNCH INDUSTRY INDIA PRIVATE LIMITED（インド）

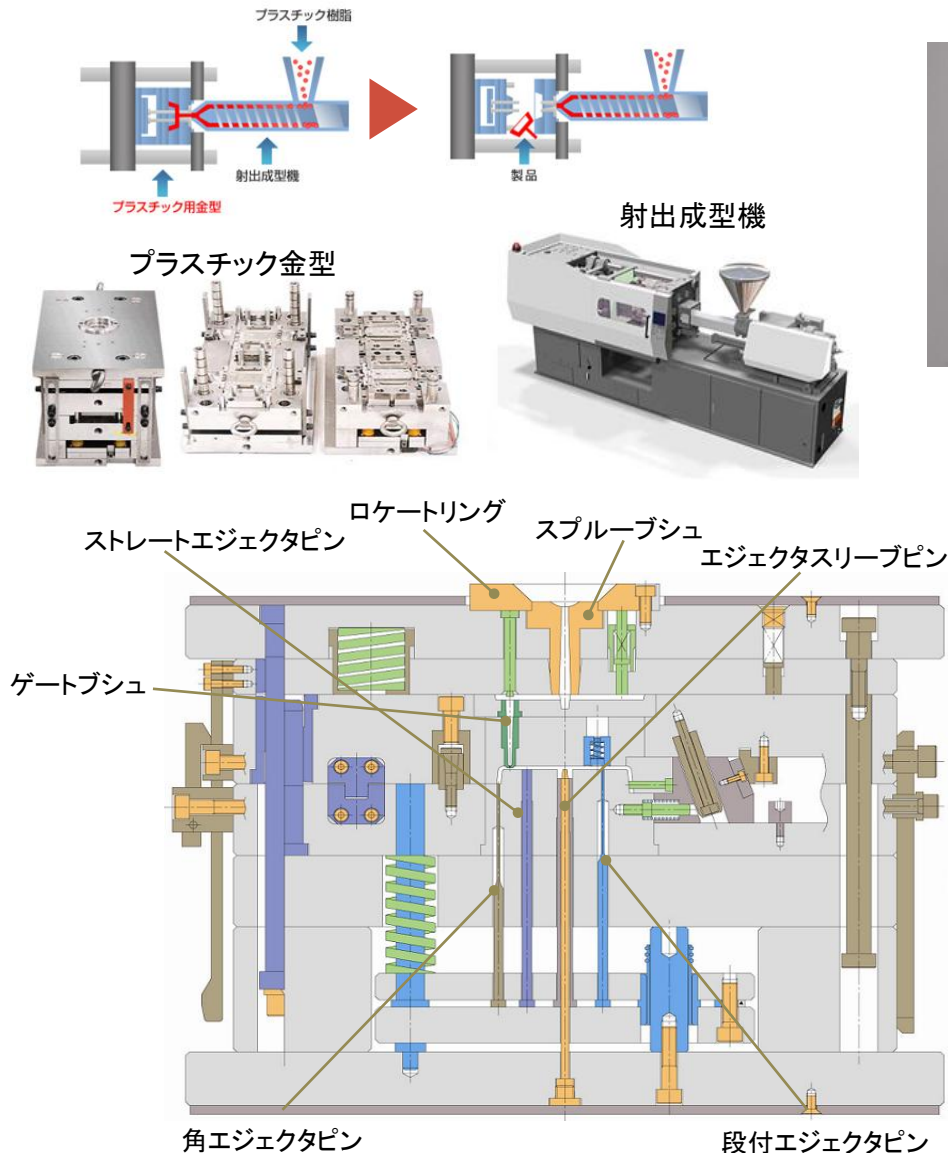
沿革

1975年	創業、プリント基板用穴あけピン製造
1982年	プラスチック金型用部品に進出（ハイスエジクタピンの量産化に成功）
1983年	北上工場設置 金型用部品の全国販売を開始
1989年	プレス金型用部品に進出 宮古パンチ工業（現 宮古工場）設立
1990年	中国大連に製造拠点設立
2001年	中国に販売拠点設置
2002年	中国国内での金型用部品販売を開始
2010年	インドに販売拠点設立
2011年	兵庫工場設置 インド国内での金型用部品販売を開始
2012年	パンサー社（マレーシア）と資本業務提携 東京証券取引所市場第二部上場
2013年	中国重慶に生産物流拠点設置

金型部品業界でのトップブランドを確立し
製販一体企業としての優位性を活かした
高収益企業を目指す



プラスチック金型と金型用部品



スプルーブシュ・ロケットリング



エジェクタピン

●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ、ゲートブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

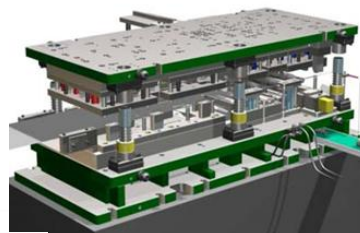
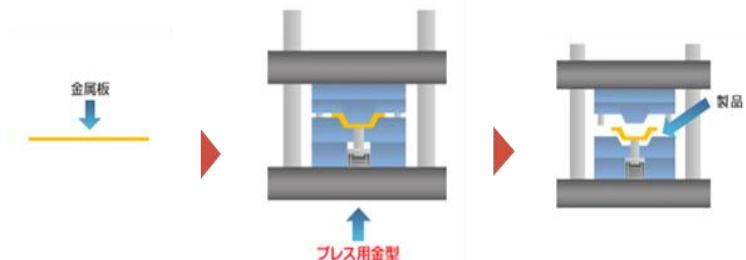
エジェクタピン……成型品を金型から離し、突き出すための部品

スプルーブシュ……射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品

ゲートブシュ……スプルーブシュから金型内の製品部にプラスチックを流す部分であり、成型後、金型を開く時にこの部分から製品部を切り離すための部品



プレス金型と金型用部品



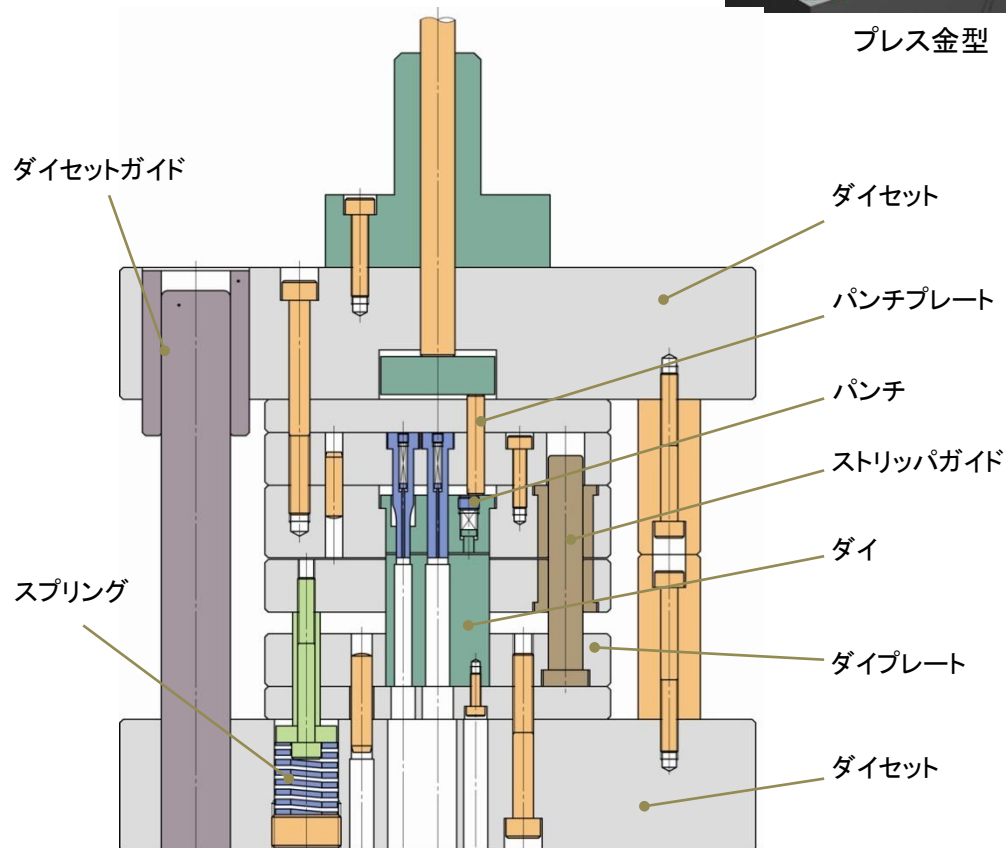
プレス金型



パンチ



ストリップガイド



● プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料（金属の鋼板）を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用する金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

パンチ……………パンチは材料に押しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品

ダイセットガイド……………上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

ストリップガイド……………パンチ・ダイの関係をダイセットのガイドを用いて位置合わせをして、適正なクリアランスを保つために使用する部品

事業内容

工程設計、材料調達から出荷まで一貫した生産体制が強み

特注品製造工程

工程
設計

材料

切削
加工

熱
処理

研削
加工

放電
加工

表面
処理

完成
検査
(全量)

出荷
7～14日

お客様

一貫通貫の生産体制

お客様

材料

熱
処理

切断
加工

鍛造
加工

ブランク
材
(在庫)

研削
加工

表面
処理

完成
検査
(全量)

出荷
通常3日

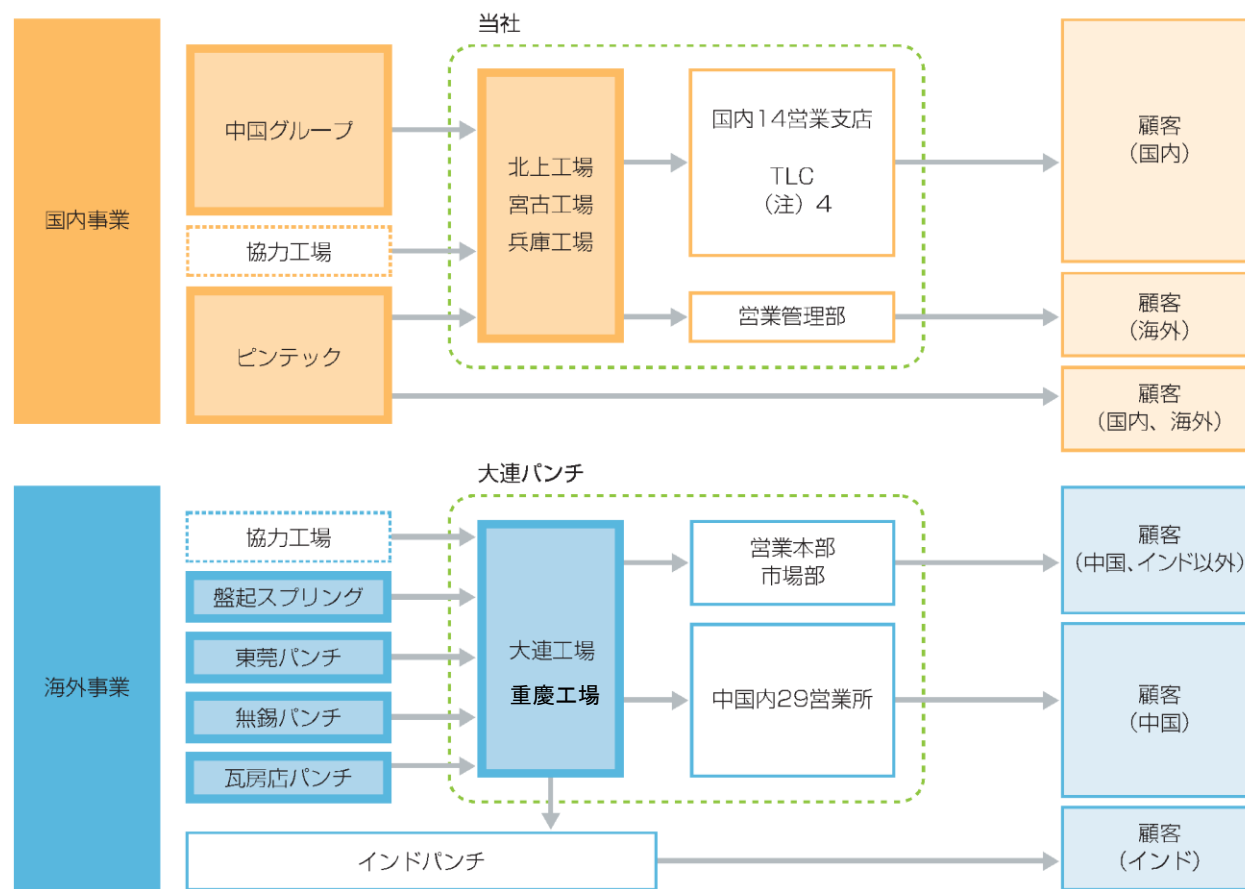
標準品製造工程

当社及びグループ各社の機能と役割

	会社名	略称	機能と役割
国内事業	パンチ工業株式会社（当社）	—	グループ統括機能。 国内3工場、ピンテック、中国グループ各社で製造した製品と、協力工場にて製造した製品等を、主として国内市場にて販売。
	株式会社ピンテック	ピンテック	主として当社向けの製品を製造、販売する一方、ピンテック独自のプリント基板金型用精密部品を製造し、グループ外に販売。
海外事業	盤起工業（大連）有限公司	大連パンチ	中国グループ統括機能。 傘下4社からの仕入れも含め、製造した製品、半製品、および協力工場にて製造した製品等を、主として中国国内市場および当社に販売。
	盤起工業（瓦房店）有限公司	瓦房店パンチ	主として大連パンチおよび当社向けの製品等を製造、販売。
	盤起工業（無錫）有限公司	無錫パンチ	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	盤起工業（東莞）有限公司	東莞パンチ	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	盤起弹簧（大連）有限公司	盤起スプリング	主として大連パンチ向けの製品等を製造、販売。
	PUNCH INDUSTRY INDIA PRIVATE LIMITED	インドパンチ	主として大連パンチ製品等を輸入販売。

- （注）1. 国内事業とは、当社およびピンテックの事業を、海外事業とは、大連パンチ以下6社の事業を意味しております。
 2. 中国グループとは、上記、大連パンチおよび傘下4社（瓦房店パンチ、無錫パンチ、東莞パンチ、盤起スプリング）の総称であります。

事業系統図



- (注) 1. は当社グループの社内生産部門を示しております。
2. は当社グループの社外生産部門を示しております。
3. は製品等の流れを示しております。
4. TLCは当社国内物流センターである東京ロジスティクスセンターの略称であります。

事業体制

● 製造拠点

国内製造拠点・物流拠点

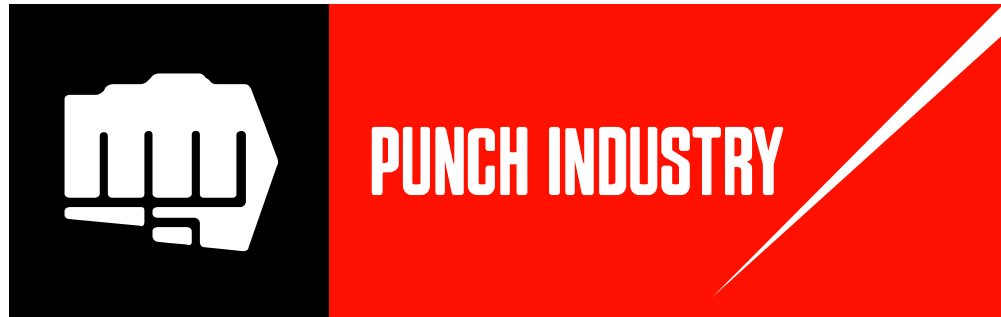
海外製造拠点



本日はありがとうございました。

IRに関するお問い合わせ先

パンチ工業株式会社 総務部コーポレート課
電話: 03-5460-8237 e-mail: info-corp@punch.co.jp



将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。